資料３－３
令和４年２月９日
第２回連絡協議会

令和３年度　成年後見制度学習会・相談会　実施報告

１　日時　令和３年12月11日（土）午後１時30分～３時45分

２　場所　武蔵野スイングビル10階スカイルーム

３　内容　親なき後に備えるための成年後見～専門職の実践報告に学ぶ～

４　総合進行　公益財団法人武蔵野市福祉公社

（１）学習会　司　会：後藤明宏氏（こだまネット理事長）

パネラー：久保田聡氏（弁護士）

松本美姫氏（司法書士）

武田嘉郎氏（社会福祉士）

松丘晃氏（行政書士）

参加者：38名（定員40名）

（２）相談会　ブースを設け、パネラー４名に相談を受けて頂いた。

相談者：８組（９名）

相談内容：※パネラーより可能な範囲で確認。

５　当日の様子

６　アンケート結果

有効回答数　・・・　36（【性別】男性８、女性23、未回答５）

【年齢】30代２、40代５、50代11、60代９、70代７、80歳以上２

【住まい】吉祥寺東町１、吉祥寺北町３、御殿山２、中町２、緑町３、西久保１、関前７、境６、境南町５、市外２（練馬、杉並）、市内のみ未回答４

【Q1】本日の講演会はいかがでしたか？

参考になった30、普通５、あまり参考にならなかった１

【Q2】Q1の回答理由

■参考になった

・具体例が示され、後見人制度に対する理解が深まったため。

・具体的なお話が良かった。もう少し時間があればよかった。

・パネラーと個性によるところが大きいとは思うが、専門職の職種によって後見等の方法に特色が出ることを大変興味深く学べたため。

・各専門職の方がどのように実務を行っているかよくわかった。

・後見を受任されている方の実際の業務実態が聞けたことに意味があった。

・各専門職でのケース対応や強みがわかった。　等

■ 普通・あまり参考にならなかった

・認知症や自分の老後のことなど高齢者の方の事例を聞きたかった。　等

【Q3】成年後見制度に関して、今後どのような話が聞きたいですか？

・親族が後見人になるときの注意点について。

・障害児を持つ親に頂点を当てた勉強会＆報告会を希望。

・任意後見制度のことをもっと詳しく聞きたい。

・子供が遠方にいるため老後の後見人について聞きたい。

・自分の子供など成年後見人になれるかどうか、手続きについて知りたかった。

・今回のような実践事例の報告を何度もやっていただけるとありがたい。

・市民後見人の可能性について一専門職とのすみわけ。

・個別相談にて具体的なアドバイスをいただきたい。

・何回かに分けて、もっと具体的な話が聞きたい。公社の学習会に参加に行きたい。

・知的障害の場合、全て「後見」がつくと思っていた。補助、保佐はどのような方か詳しく知りたい。　等

【Q4】その他、ご意見・ご感想など（自由記載）

・補助、保佐、後見のレベル別に事例を聞くセッションを分ければ、より自分の聞きたいケースの情報が収集できる。（便利、効率的）

・兄弟なし、両親が亡くなった場合について。重度知的障害児の話を聞きたい。

・できれば４人のお話のレシピ（資料）を頂ければよかった。

・親の高齢に伴い、将来認知症になった場合に備えて勉強しに来たつもりだった。

・ZOOM などで参加できると時間の節約になる。

・各専門職の関わり方の違いがよく出ていた。もう少しじっくり話を聞きたかった。

・短時間で有意義な内容であった。

・今後もこの様なお話の場があったらありがたい。　等